

2020年度 第2四半期

決算説明資料

(ハイライト情報)

2020年10月26日

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

蝶理株式会社

業績内容（前年同期比）

POINT

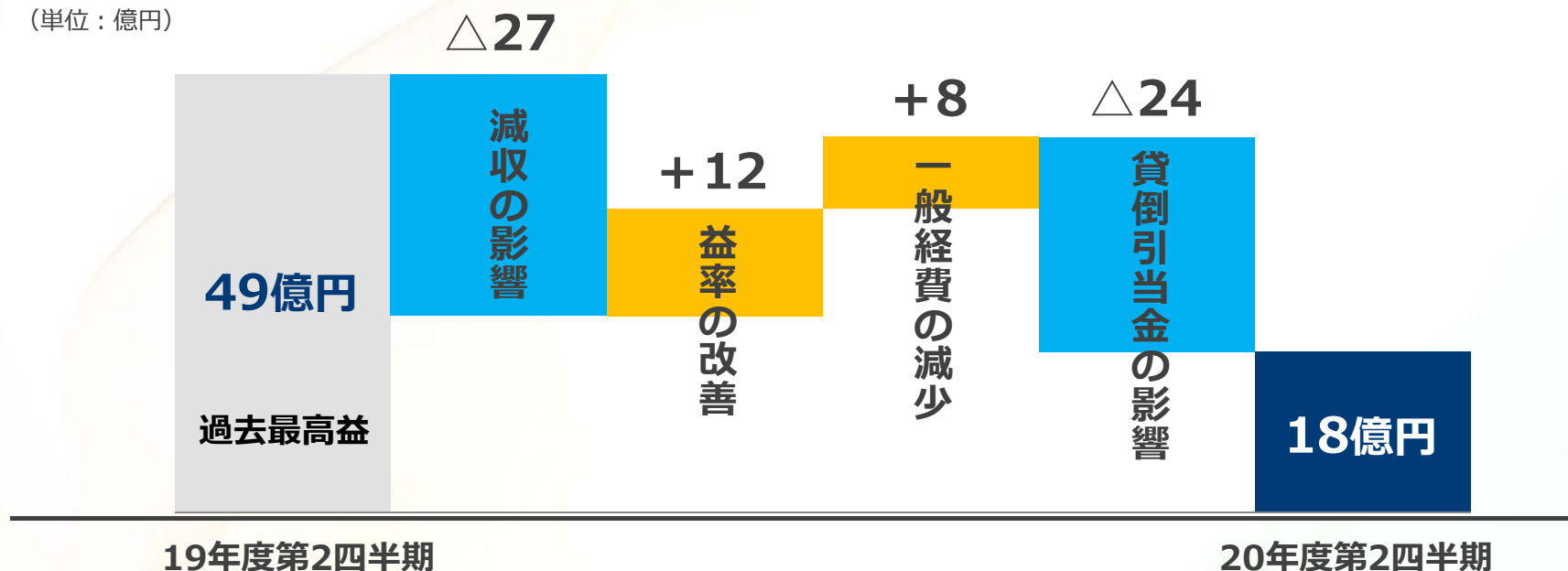
- 新型コロナウイルス感染拡大により世界的に経済活動は停滞。
- 売上高は減収。第1四半期に貸倒引当金繰入額24億円の計上(販売費及び一般管理費)もあり、営業利益以下各段階利益も減益。
- 但し、本業の事業収益力は維持。利益率の改善と経費削減効果で、第1四半期の赤字から黒字転換。
cf. 貸倒引当金繰入額を控除した場合の営業利益40億円、経常利益43億円
- 上期実績をベースに業績動向を見直し、業績予想を引き上げ。
未定としていた配当予想を年間28円/株として公表。

(単位：億円)	19年度 2Q	20年度 2Q	増減額
売上高	1,644	1,022	-622
(収益認識基準適用後*)	1,252	1,022	-231)
売上総利益	144	130	-15
販売費及び一般管理費	98	114	+16
営業利益	46	16	-30
経常利益	49	18	-31
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32	3	-30

* 20年度1Qより、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」(2018年3月30日公表分)を適用しております。

経常利益の推移

(単位：億円)



cf. 貸倒引当金繰入額の計上

- 連結子会社の澄蝶株式会社は中国の化学品製造会社グループ(当該取引先)に化学品原料を販売。
- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当該取引先の主力の石油化学事業が低迷し、資金繰りが不安定。
⇒ 澄蝶株式会社への原料購入代金の支払が遅延。当該取引先は現在も操業中。
- 当社グループは支払訴訟の提起など速やかな法的手続きを実行、現在進行中。
- 第1四半期において、売掛債権の回収状況及び法的続きの進行見通し等を勘案し、売掛債権額の50%相当の貸倒引当金繰入額を計上。(当第2四半期も変動なし)

セグメント業績

売上高

(単位：億円)

	19年度 2Q	20年度 2Q	増減額
繊維	556 (512)	436	-120
化学品	775 (726)	575	-200
機械	313 (14)	11	-302
その他	0	0	-0
合計	1,644 (1,252)	1,022	-622

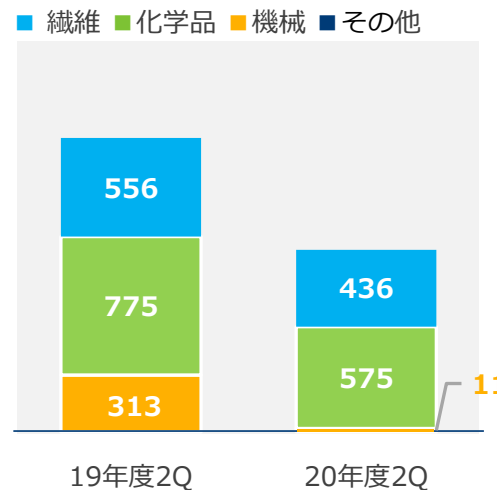
* ()内は「収益認識会計基準等」適用後の金額を記載しております。

経常利益又は損失

(単位：億円)

	19年度 2Q	20年度 2Q	増減額
繊維	19	18	-2
化学品	22	-3	-25
機械	3	3	-0
その他	4	1	-4
合計	49	18	-31

* 「その他」には調整額を含んでおります。



繊維…減収減益

堅調 衛生材

低調 国内衣料

化学品…減収・経常損失

堅調 ライフサイエンス
ファインケミカル

低調 有機化学品
電子材料

損失 貸倒引当金24億円計上

機械…減収減益

低調 車輛



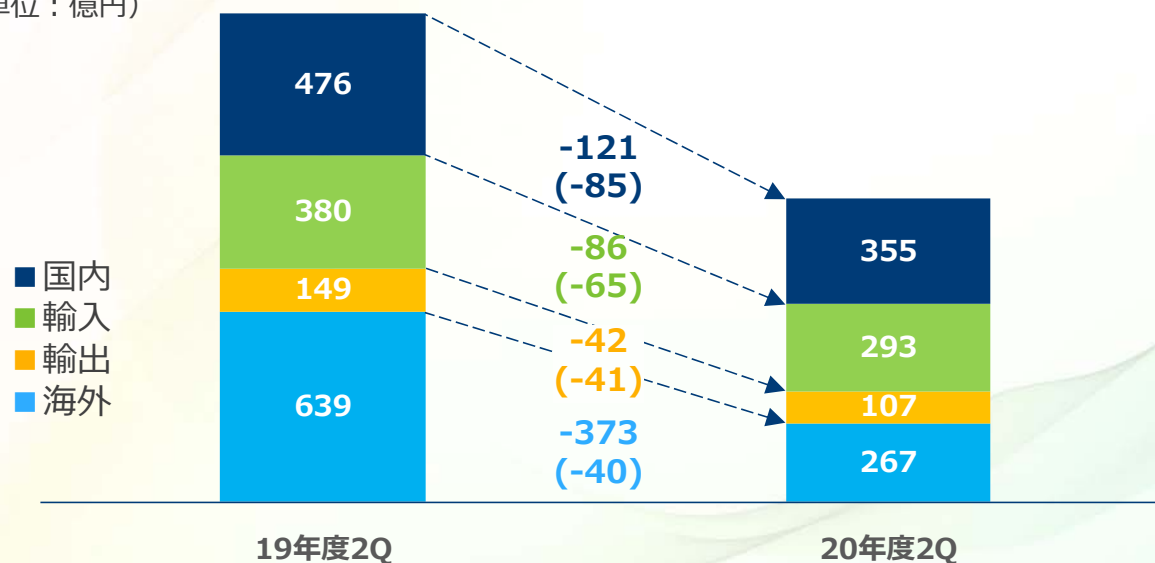
形態別売上高

POINT

- 貿易比率 : 65.3% (前年同期比-5.7%)
- 国内売上高 : 繊維事業・化学品事業ともに減収
- 貿易取引 : 全セグメントにおいて減収

売上高	1,644 (1,252)	売上高	1,022	売上高	-622 (-231)
貿易取引	1,168 (813)	貿易取引	667	貿易取引	-501 (-146)
(貿易比率)	71.0% (64.9%)	(貿易比率)	65.3%	(貿易比率)	-5.7% (+0.4%)

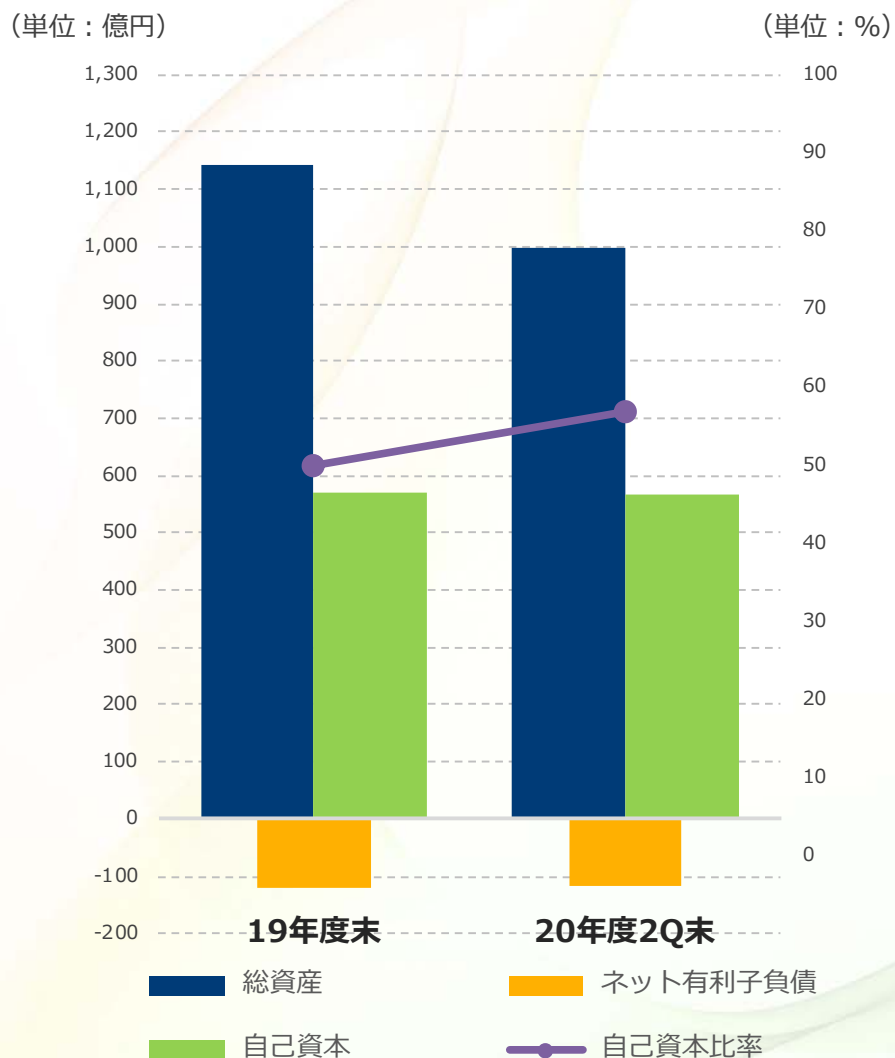
(単位：億円)



国内売上高	日本国内の売上額
輸入売上高	海外から日本国内への売上額
輸出売上高	日本国内から海外への売上額
海外売上高	海外取引の売上額

* ()内は「収益認識会計基準等」適用後の金額を記載しております。

財政状態



財務健全性

(単位：億円)

	19年度末	20年度 2Q末	増減
総資産	1,144	999	-145
ネット有利子負債	-120	-116	+4
自己資本	572	568	-4
自己資本比率	50.0%	56.9%	+6.9%

収益性・資本効率

	19年度末	20年度 2Q末(注)	増減
ROA (経常利益ベース)	7.5%	3.4%	-4.1%
ROA (当期純利益ベース)	5.2%	0.5%	-4.8%
ROE (当期純利益ベース)	11.0%	0.9%	-10.1%

(注) 年間ベース

キャッシュ・フローの状況

POINT

- 営業CF：基礎収益の確保等により、+12億円(貸倒引当金計上の影響なし)
- 投資CF：事業投資による支出等により、-5億円
- 財務CF：配当金の支払等により、-7億円

(単位：億円)

	19年度 2Q	20年度 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	13	12	-2
投資活動によるキャッシュ・フロー	-13	-5	+8
財務活動によるキャッシュ・フロー	-8	-7	+1
換算差額	-1	-1	-1
キャッシュ・フロー合計	-9	-2	+6
現金及び現金同等物の四半期末残高	112	127	+16

2020年度業績予想

POINT

- 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」スタート
激変する社会・経済環境へ即応すべく、「守り」を一層徹底、持続的成長のための基本戦略を推進
- 貸倒引当金繰入額24億円を除いた基礎収益(経常利益ベース)43億円は、期初通期予想(70億円)に対して順調に進捗(61%) ⇒ 20年度通期業績予想を上方修正

(単位：億円)

	期初予想 (5月19日発表)	前回修正予想 (7月27日発表) (a)	今回修正予想 (b)	増減額 (b-a)	20年度 2Q実績
売上高	2,000	2,000	2,100	+100	1,022
営業利益	67	42	47	+5	16
経常利益	70	45	50	+5	18
親会社株主に帰属する 当期純利益	46	21	22	+1	3

※詳細は2020年10月26日付「業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

中間配当及び2020年度配当予想

POINT

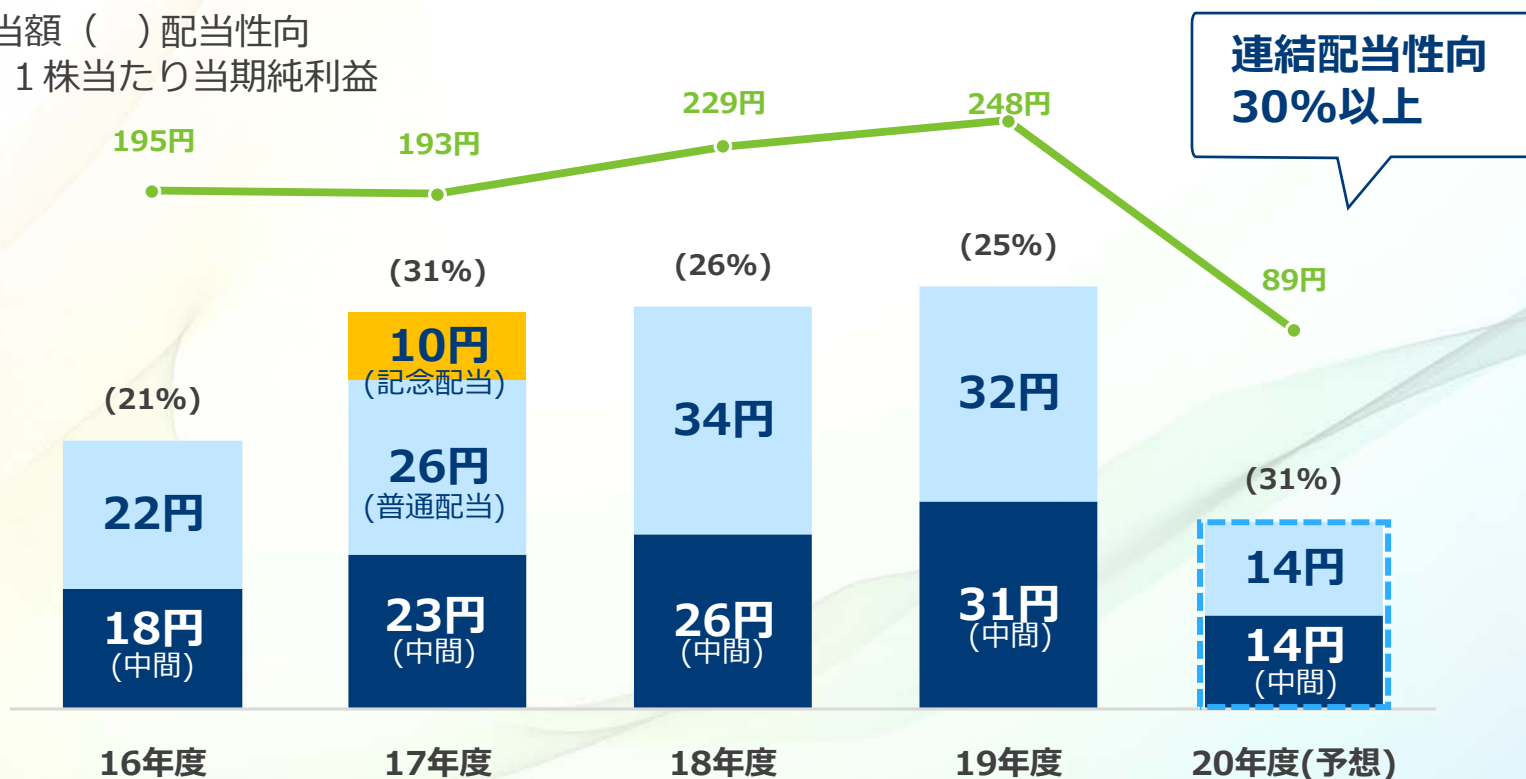
● 2020年7月27日に「未定」とした当期中間配当及び期末配当予想を修正

|| 配当の基本方針

成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。

| 配当推移

- □ 配当額 () 配当性向
- EPS：1株当たり当期純利益



あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社